



## 第15回テーマ： 六甲山生活と野鳥の魅力



声のきれいなオオルリ

### 講演内容

- 六甲山事情
- 六甲山郵便局父子二代
- 六甲山で見られた野鳥

実施日：平成21年6月20日（土）  
午後1時～3時45分  
場 所：六甲山自然保護センター



講師：<sup>きたの</sup>北野 <sup>いさむ</sup>勇さん  
プロフィール

1943年(昭和18年)六甲山生まれ、66歳。昭和30年六甲山小学校卒業、鷹匠中学校・神港高校卒業。昭和36年六甲山郵便局勤務(26年間)。六甲山ふれあいのまちづくり協議会委員長、六甲山小学校同窓会長などを兼任。

### 神戸大学生も迎えて環境整備活動

六甲山は曇り空でしたが、午前中の環境整備ボランティア活動には12名が参加しました。神戸大学からESD(持続可能な開発のための教育)授業の一環で学生とスタッフ5名も参加されました。

ササ刈りと植生観察、実験区画の観察、モリアオガエルの卵塊調査の3つに分かれて活動しました。

### 六甲山の生活史を語る人

北野さんは、お祖父さんが大正10年に六甲山上に移り住まれて以来、3代89年にわたる六甲山住民です。お祖父さんからは池の氷の切り出しの話等、郵便局員をされたお父さんには涙ながらの苦労話を聞いて育ったとのこと。

最近、息子さんにカメラをプレゼントされ、日常生活は野鳥の写真撮影に没頭されています。2年足らずの短期間で、51種もの野鳥の生き生きした姿をとらえています。美しいパネルを作って展示していただきました。



父の北野亀一さん

### 六甲山生活に根ざした野鳥観察

講演では、今昔の六甲山事情や戦時中の郵便配達 of 驚くばかりの苦労を紹介されました。そして、「メインのテーマ」として六甲山で見られた野鳥の解説に移りました。

ご自宅の庭や近辺で撮影された野鳥をはじめ、51種の野鳥のスライドに軽妙なジョークも加えて話されました。「頼んでもじっとしてくれん」撮影の苦心や、熱中しすぎて「鳥と一緒に寝とき」と言われたことなど、思いを込めた取り組みが偲ばれます。

六甲山の野鳥は120種とか、90種といわれます

が、北野さんが写真に撮ることができたのは現在のところ51種です。

野鳥のスライドは単体ではなく、オスとメスをともに撮影されており、識別しにくい似た鳥は比較した写真も用意されました。

美しいスライドと洒落な語りに接して、学術的な関心や趣味道楽の領域ではないことを実感しました。

参加者は、北野さんが長年暮らしている六甲山生活の魅力を追求されていることに感銘を受けた様子でした。



野鳥に魅せられる参加者

### 六甲山の野鳥の多様性も考えたい

六甲山で見られなくなった野鳥や、ソウシチョウのように最近増えてきて問題を感じさせる野鳥についても紹介していただきました。山麓とは違った自然環境の楽しみ方をうらやましく思うと同時に、野鳥の多様性が少なくなっていることには注意を促されました。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

### 参加の感想 大北 修さん

4月に神戸に転居し月の1～2回六甲山に登っています。本セミナーをグループ祭の時にパンフで知り、今回の内容が鳥であった事から申込みをしました。

鳥の種類としては、そうめずらしい種類はなかったですが、ウグイスのさえずりの写真や比較写真等があり、北野氏の話術もあり大変興味深く聞き入り今後も参加したくなり、又六甲山での野鳥観察もしたくなりました。



主催：六甲山を活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局、灘区役所、神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

イオン環境財団、大阪コミュニティファンド、灘区役所、公益信託自然保護ボランティアファンド、公益信託TaKaRaハーモニストファンド